

【茎数確保と中後期除草の検討】

福井県の5月の平均気温が観測史上1位となり、田植以降好天が続いたことから稲の生育は草丈・茎数・葉色ともに良好です。今後は軽く田干しを行うことや浅水管理により分けつを促進させ、丈夫な株を作りましょう。また、後発雑草が発生していますので、発生状況に応じて中後期除草剤を散布しましょう。もうすぐ梅雨入りの時期を迎えますのでこれからの天気を十分に確認しながら栽培管理に努めましょう。

1. JA生育調査状況(6月3日現在)

①JA全体(移植)

年度	移植日 (平均)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色
R8	5/20	23.6	101.3	3.6
R7	5/18	22.6	109.0	3.3

【前年比】

■草丈: やや長い ■茎数: やや少ない ■葉色: 濃い

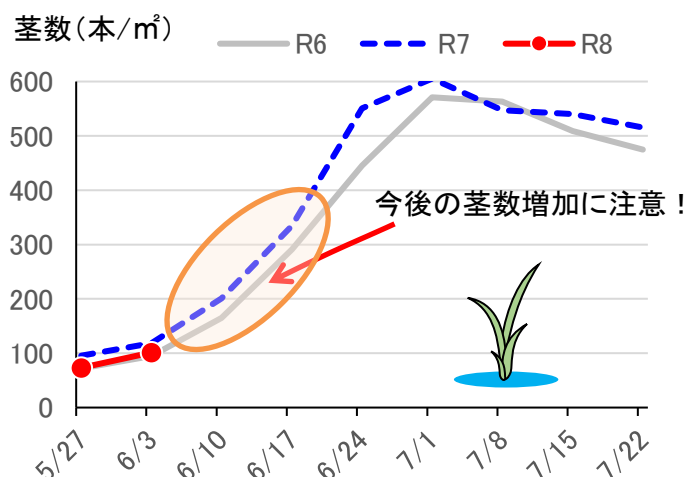
②気象状況: 5月29日～6月3日(平年比)

- 平均気温 : 高温(2.2℃/日)
- 降水量 : 多雨(3.4mm/日)
- 日照量 : 多照(1.4時間/日)

③ いちほまれの生育状況は、5月の気温が平年より高く、概ね順調です。浅水管理により茎数確保に努め目標茎数確保後は速やかに中干しを開始しましょう。



2. 茎数の推移について(6月3日現在)



【気象庁の1か月予報】

西日本の向こう1か月の天気予報は、低気圧や前線の影響で、降水量が平年並みか多い。また、雨が多い割には気温が高く、併せて気温の変動が大きくなる事が予報されています。今後のいちほまれの栽培管理には注意が必要です。

【いちほまれの栽培管理】

- 水深2～3cm程度の浅水管理(分けつ促進)
- 水田の補植用の苗は、いもち病発生の原因になるため、廃棄しましょう。



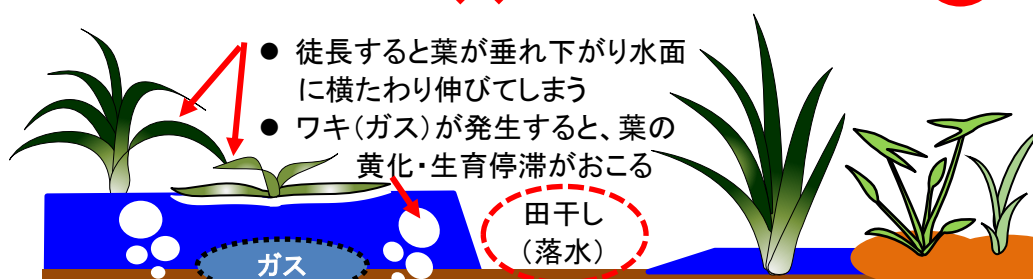
3. いちほまれ栽培ポイント

【茎数の確保】

茎数確保に向け浅水管理を行い、目標茎数確保後は中干しを開始し土中に酸素を供給し丈夫な株を作りましょう。

【深水管理⇒**軟弱徒長助長**】

【浅水管理⇒**分けつ促進**】



【後発雑草の対策】

後発雑草が発生している圃場では、草種に応じた中後期除草剤を早期に散布してください。

雑草区分	資材名	形状
ヒエ	クリンチャー	粒・EW
広葉	中後期剤	粒
	バサグラン	粒・液

□ 中干しまでは浅水管理で分けつを促しましょう。

中干し(落水)